

A地区におけるシカの行動圏について

重点的に保護すべき地区に生息するシカの行動範囲を把握するため実施したGPSテレメトリー調査結果を報告する。

1. GPSテレメトリー調査

一般財団法人奈良の鹿愛護会の協力を得て、A地区のメス3頭を対象にGPSテレメトリー調査を実施した。測位結果から、行動圏の解析を行った。

調査期間：平成29年3月6日～平成30年3月6日



2. 行動圏

GPSテレメトリー調査結果から固定カーネル95%（全体的な行動圏）、50%（中心となる行動圏）により、行動圏を推定した（図1）。メス3頭は奈良公園内の限られた範囲を行動圏としており、季節移動も大きなものはなかった。時間ごとに利用する場所に傾向が見られ、日中は観光客が多く鹿せんべい等の餌のある芝地や、春日大社参道等の場所にとどまり、早朝や日没後にはそれぞれが樹林地のほぼ同じ場所にとどまるなどの行動が確認された。

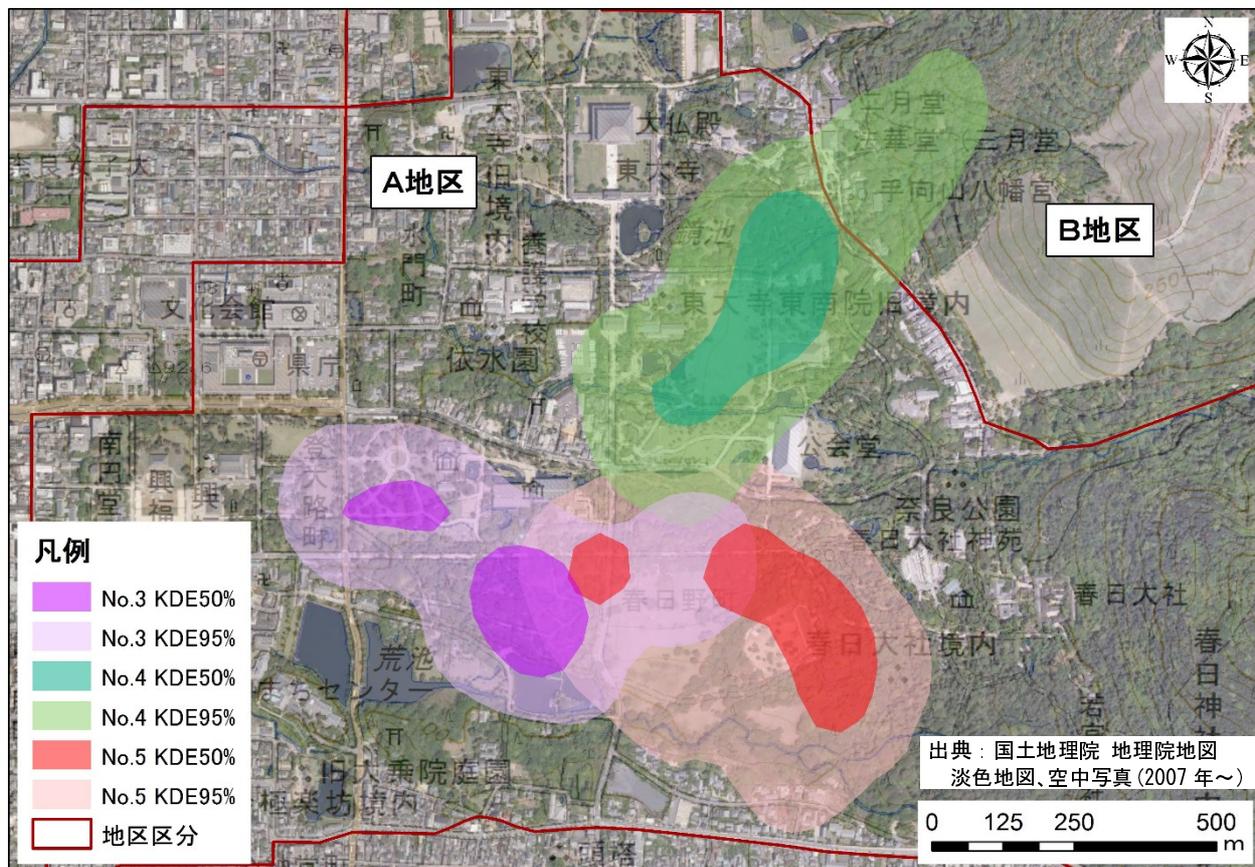


図1 A地区におけるメス3頭の行動圏（固定カーネル95%、50%）